

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成 29 年 9 月 1 日 NO.13 (142)

5 年生野外体験教室報告:その 2

28日は滝沢牧場へ。牧場スタッフでプロデューサー兼インストラクターのはまちゃんより、とても丁寧に貴重でためになる講義を受けた後に、野外体験プログラムである酪農体験に出発。子牛の心臓音を補聴器で聞く姿は獣医さんのようであり、乳しぼり体験では、一人一人緊張しながらも乳の出る様子にびっくりドッキリ感動の様子でした。最後に干し草の餌やりでは、牛タンにペロリとなめられては、キャーキャーワーワー！の声。バター作りでは、その朝のしぼりたて生乳をボトル入れ、皆で根性入れてシャカシャカと振り続けました。その結果、どの班でもたくさんのバターができ、美味しく召し上がり舌鼓。皆初めての体験にわくわくドキドキの連発でありました。はまちゃんより、人間は、命あるものを頂き、自らの生命を保つことができるというお話も聞くことができ、様々な生き物に感謝すべきであること、さらに、日本の酪農事情についての様々な課題があることなど、とても大切な事をたくさん学ぶことができました。なお、この時も元担任の久保田先生が応援に駆け付けてくれ、おやつ差し入れもあり、またまたみんなの嬉しそうな顔・顔・顔でありました。

昼食後には、次のプログラムである農業体験へ出発。広いトウモロコシ畑にて一人4本収穫しお土産にしました。雨のためにも事前に茹でてもらったトウモロコシは甘さたっぷり、自然の笑顔満開となった子供たちでした。

その後、宿舎にて夕食し、体育館でのキャンドルサービスを行いました。ゲームや踊りに友達と一緒に大いに盛り上がり、すてきな時間を過ごすことができました。しかし、ここで終わりではなく、恐怖の肝試しへとプログラムは移行。がらんとした何もない大きな部屋にポツンと白い椅子が一脚。これがまた不気味な雰囲気醸し出し逃げ惑う男の子を叱咤激励し勇気づける女の子がいたりして、これまた大盛り上がりテンションMAX。子供たちの一人一人の弾け輝く笑顔と、引きつった顔などが混然一体となる楽しい集いとなりました。ステキな思い出作りができ、夜も熱を出す子もなく皆良い子で静かに就寝・・・。

「楽しく仲良く元気よく！」無事故で、皆が大変身し皆が大成長し帰ってきた5年生。決まりをよく守り、友達と助け合い、健康管理もバッチリの5年生。この貴重な体験を、これからの2学期の学校生活でさらに生かしてほしいと思います。そして、立派な最高学年・6年生へと成長してくれることを心より願っています。

